

JK妹のメスガキおまんこ実習♪  
「おまんこのお勉強ちまちょうねえ♪」

美紀

「こんにちは♪ 今日には童貞卒業支援サービス『現役△のセックス家庭教師』をご依頼いただきありがとうございます♪」

美紀

「プランは本番無しで、女の子のおまんこ勉強プランで間違いないですよ？ あ、これ証拠の学生証です。見えてますか？」

美紀

「間違いないければ開けてくださーい♪ お願いしまーす♪」

美紀

「あ、どうも♪ 今日はよろしくお願いします………って、ふえ？」

美紀

「え？ あ、え、ちよっ……え、ええええ！！？？ お、お兄ちゃん！？」

美紀

「な、何でお兄ちゃんがこんなところに！ って、あっ！ そういえばお兄ちゃんの引越先って……え？ でも、ええ？ 偶然って……そんな事ある？ 奇跡でしょこんなの……」

美紀

「んん？ ってか、え？ わざわざセックス家庭教師……しかも現役△プランを予約するって……もしかして、お兄ちゃんって童貞さんなの？」

---

美紀

「つぷ♪ あは♪ あははははは♪ えええ？  
え？ え？ えええええええ？？ お兄ちゃ  
んって♪ 童貞さんなんだ♪ 女の子のや  
わらかい感触も知らない、情けないど・う・  
て・い・さん♪」

美紀

「ぶぶぶ♪ しかもわざわざセックスの仕方を教  
えてもらおうとこんなサービスまで頼んじゃっ  
てえ♪ それもお姉さんプランじゃなくてスプラ  
ン♪ ぶぶぶ♪ 変態さんだあ♪」

美紀

「え？ 私？ 私はちゃんと許可取ってますしい♪  
セックスやおさわり厳禁のソフトコース担当だ  
からね♪」

美紀

「セックス好きな友達とかは本番ありコースの担当  
だったりするけど、私、知らない人に触られるの  
とか論外だし」

美紀

「……ん、ぶぶ♪ ってかあれだね♪ お兄ちゃ  
んってばセックスコース頼まなかったんだ？」

美紀

「だって、セックス無しコースって、まだ精通して  
ないようなお子様向けコースだよ？ お子様に女  
の子のエッチな部分を教えてあげる為の家庭教師  
プランなのに……お兄ちゃんってばその歳になっ  
てセックスが怖いのか？ あははは♪ なっさけな  
い♪」

---

美紀

「ん？ んん？ 怒った？ 怒っちゃったあ？ えへへ♪ でも事実だよね♪ おまんこセックスは怖いけど、おまんこは見たい変態さんなんだもんね？」

美紀

「あはははは♪ はあ♪ 顔真っ赤にしちゃって♪ もう♪ 面白いな♪お兄ちゃんは♪」

美紀

「ん、いいよ？ 依頼金も貰っちゃってるし♪ 今日は一日かけて女の子の体、お兄ちゃんに教えこんであ・げ・る♪」

美紀

「楽しみにしてて♪ お兄ちゃん♪」

◆トラック０２

美紀

「おっじゃまっしまっす♪」

美紀

「って、わあ♪意外と綺麗にしてるんだね♪ ちょっとビックリだよお♪」

美紀

「いや♪家事も出来て仕事も出来て、更には顔も……んん……及第点？ ってえへ♪ 冗談冗談♪ かつこいいよ？ 平均よりは♪」

美紀

「妹目線でも悪くないと思うのに……ぷぷぷ♪ その歳で童貞、なんて……♪ あははは♪ ごめんごめんって♪ そんな勘ねないですよ♪」

美紀

「ふふ♪ 馬鹿にしてごめんね？ お詫びに、一日かけて妹の私が文字通り一肌脱いであげるから♪ しっかり自信を付けていつか童貞をすてられるようになりましょうねっ♪」

美紀

「はい、返事はどうしましたか？ えっ？ 当たり前でしょ？ 今日はお兄ちゃんの先生なんだから♪ 生徒はきちんと先生にお返事しないとダメですよ？ あ、いや♪ ダメでちゅよっ？」

美紀

「はっい♪ よくできましたっ♪ ではベッドの前に正座になっていい子で待っててねっ♪」

美紀

「ほほお♪ お兄ちゃんも素直になってきたね♪ ご褒美にいい子いい子してあげる♪」

美紀

「んん♪ そっれ、いい子いい子っ♪ いい子いい子っ♪」

美紀

「はうう♪ 何かお兄ちゃんをナデナデするなんて初めてで……あうあうあうう♪ これやバイ♪ なんか胸がキュンキュンしちゃう♪」

美紀

「んん♪ ナデナデっ♪ ナデナデっ♪ いいこいいこっ♪ いいこいいこっ♪ いう事聞けて偉いでちゅねっ♪ ばぶばぶっ♪」

美紀

「ん？ あはは♪ ごめんね？ ちよっと楽しくって調子に乗りすぎちゃった♪」

---

美紀 「ん♪ お兄ちゃんももう我慢できないって顔になってるし、女の子の事♪ 教えてあげる♪」

美紀 「まずはおっぱいについてだね♪ 今から上着脱ぐからしっかり見てるんだよう？ 本番セックスの時に上手に脱がせられる男の子はモテるんだから♪」

美紀 「ん、なんかちよつと恥ずかしいね♪ 今までは精通もしてないシヨタ君にしか見せてこなかったから……しかも、初めて見せる大人がお兄ちゃんなんて♪ んん♪ ヤバ♪ ちよつと興奮しちゃう♪」

美紀 「ん、んんゝしょ……っ……はふう♪ 脱げたよお兄ちゃん♪ って、あれ？ ちよつとゝお兄ちゃん！ 何顔背けてるの！ 恥ずかしがってないでこっち見て！ ほらこっち！」

美紀 「ん、それでよし♪ まったく、童貞さんは恥ずかしがり屋が多くて困っちゃうね」

美紀 「ほら、どう？ 現役△の生おっぱいは？ って、あはは♪ お兄ちゃんったら夢中でおっぱい見てえ♪ ねえねえ？ 綺麗？ 可愛い？」

美紀 「ふふふ♪ 私のおっぱいは凄い人気でね？ 数十万払って触りたいなんて人もいるくらいなんだよ？」

---

---

美紀

「まあ私はおさわりませプラシダから絶対そんな事させないけど♪ あ、今残念がった？ おっぱい触れなくて悲しくなっちゃった？」

美紀

「ぷぷぷ♪ 可愛そうなおにちゃん♪ こうんな綺麗なピンク色の乳首を目の前に手がだせないんだもんね♪」

美紀

「ほーら、こうやっておっぱいを指で持ち上げて…ぷるんぷるん♪ 分かる、お兄ちゃん？ 私の指がおっぱいに埋もれて、形が変わってところ♪」

美紀

「持ち上げる度にもちもちの肌が吸い付いて、指が沈んで…あん♪ やっ♪ ダメ♪ お兄ちゃんに見られながら揉んでると、ちよっと、んん♪興奮してきちゃった♪」

美紀

「あ♪ や♪ あん♪ はあ、はあ…え、えへへ♪ お兄ちゃん、目凄すぎ♪ 血走ってるじゃん♪ えへへ♪ いいよ？ もっと見て？」

美紀

「はあ、はあ…おっぱいもみもみしてえ、感じる妹を…エッチに悶える妹をよく見てえ♪」

美紀

「ん、あ、んあ♪ あ、あ、んん♪ んっ！  
はあ、はあ…はふ♪ んん♪ あっ！ ダメ♪  
これ、乳首立っちゃう♪」

---

美紀

「んん♪ はあ、はあ……ねえ？　ここ♪ 乳首の先っぽ、分かる？　童貞のお兄ちゃんは分かんないかも、んん♪ だけど♪ 女の子はね？　エッチな気分になると……あん♪ え、えへへ♪　ここ♪ 乳首がね？　おちんぽと同じく、んん♪ 勃起♪　しちゃうんだよ？」

美紀

「はあ、はあ……んん♪　はあ……ふう♪　んん♪　そ♪ 勃起乳首♪　今お兄ちゃんの目の前にあるこれ♪　ピンク色でシミ一つない、誰にも触らせたことのない処女乳首♪　いっぱい観察して覚えてね♪」

美紀

「あ♪　んん♪　あ、やあ♪　お兄ちゃん息荒い♪　乳首の先端にそんな熱い息、んん♪　吹きかけられたらあ♪　こんなの、んん♪　やあん♪　乳首だけじゃなくてえ♪　おまんこも♪　あ、あん♪　感じちゃうよお♪」

美紀

「はあ、はあ……んん♪　ダメ♪　ダメだよ？　お兄ちゃん♪　お触りなんだから♪　はあ、はあ、んん♪　勃起乳首見るだけ♪　そういう契約でしょ？　ん、んん♪　んあ♪　あん♪」

美紀

「あ、ひやあ♪　そう……もつとお♪　もつと見てえ♪　妹がおっぱいでオナニーする所いっぱい見てえ♪」



---

美紀

「はあ、ん♪ あ、あ、ああ♪ ん、あん♪ 乳首い♪ 乳首♪ 乳首♪ 勃起乳首♪ んん♪ はあ、はあ、んん♪ 気持ちいいよお♪ おっぱいい♪ 乳首コリコリしてえ♪ んっ、あ、あん！ やっ！ だ、ダメえ♪ お兄ちゃんの前で乳首い♪ 気持ちいいよお♪」

---

美紀

「はあ、はあ……んん♪ ねえお兄ちゃん？ 興奮してる？ おちんぽ勃起してくれてる？ はあ、はあ……んん♪ 妹の勃起乳首見ながらあ♪ お兄ちゃんのお……お・ち・ん・ぽ♪ シコシコしたい？」

---

美紀

「んん♪ ふふふ♪ やあん♪ お兄ちゃんったらあ♪ そんな涎垂らしながら興奮してえ♪ ん♪ いいよ♪ 私に触るのは喜んで、自分のおちんぽシコシコするのは自由だからね♪」

---

美紀

「ん♪ はあ、はあ……えへ♪ 妹の、ん♪ 勃起乳首オナニー見ながら、おちんぽお♪ シコシコしてえ♪ セックスの準備の仕方♪ いっぱい覚えよう？ ね？」

---

美紀

「はあ、はあ……んん♪ ほくら♪ ズボンからおちんぽ出・し・て♪」

---

---

美紀

「あは♪ おちんぽ出しちゃったねえ♪ 妹の前で  
情けなく涎垂らして、おちんぽもだらうて見せ  
つけちゃって♪ んん♪ わあ♪ 私の乳首と同  
じで勃起してる♪ はあ、はあ……んん♪ おち  
んぽ可愛いねえ♪ おちんぽお♪ おちんぽ、お  
ちんぽお♪」

美紀

「ぶぶぶ♪ おちんぽって囁かれてまた大きくし  
てえ♪ ほんっと、お兄ちゃんってば救いようの  
ないへ・ん・た・い・さん♪」

美紀

「そうだよ？ お兄ちゃんは変態なんだよ？  
妹で勃起しちゃう変態♪ ロリコン♪ ドスケベ  
♪ 性犯罪者予備ぐん♪」

美紀

「あははは♪ なうにい？ お兄ちゃんったらこん  
な罵られて興奮しちゃうのお？ はあ♪ ほん  
ともう♪ 今まで見たことないよ♪ こんな厭  
らしい生徒は♪」

美紀

「でも♪ そんな生徒の面倒も、私はちゃーんと  
見てあげるからね♪ だからいっぱいシコシコ  
しよ♪ ほら、ん♪ あ、あん♪ はあ、えへへ  
♪ 私のピンク乳首見ながらおちんぽシコシコし  
よお♪」

美紀

「ほーら♪ しーこしーこ♪ しーこしーこ♪ し  
ーこしーこ♪ しーこしーこ♪」

---

美紀

「うん♪ 上手上手♪ おちんぽシコシコ上手だね  
ゝ♪ ん、あん♪ やあ♪ ダメだよお兄ちゃ  
ん♪ シコシコ興奮して息、や♪ 荒いよゝ♪」

美紀

「はあ、はあ……ん♪ んん♪ 乳首、鳥肌立って  
♪ やん♪ はあ、はあ……これ、気持ちいい♪  
お兄ちゃんの息気持ちいいのお♪」

美紀

「はあ、はあ、お、お兄ちゃん？ ダメだからね？  
いくら興奮してるからって絶対に乳首舐めちゃ  
ダメなんだからねえ？」

美紀

「んん♪ 代わりにいい♪ はあ、ん、あん♪ わ、  
私が特別にいい♪ 耳元で囁きながらオナサポ♪  
してあげる♪」

美紀

「ほゝら♪ シコシコシコシコ♪ シコシコシコシ  
コゝ♪ おちんぽ♪ おちんぽ♪ おちんぽ♪  
おちんぽおゝ♪」

美紀

「シコシコ頑張って♪ 女の子を知らないおちんぽ  
に、いっぱい気持ちよさを覚えさせようね♪ ほ  
らほら♪ おちんぽシコシコ♪ おちんぽシコシ  
コ♪」

美紀

「あん♪ おちんぽシコシコ激しくなってきたね♪  
もうイキそうなの？ えゝ？ まだ我慢でき  
るう？ んん♪ 情けない顔しながら強がっ  
ちゃってえ♪ お兄ちゃんったら可愛いんだから  
♪」

---

美紀

「なら私も、もっと乳首激しくコリコリしちゃう  
ねえ♪ ん♪ あ、ひゃんっ！ あ、あ、ああ♪  
これいい♪ 凄い♪ 乳首い♪ お兄ちゃんの  
イキかけの顔見ながらのオナニー♪ 気持ちいい  
よお♪」

美紀

「んひゃっ！ はあ、はあ……♪ んん♪ あ、ん  
あっ♪ はあ、はあ……ん、んんん♪ ん  
ひゃっ！ やっ！ ひゃああん！？」

美紀

「ん♪ んん♪ あ、ひゃ♪ あ、あああ……」  
「ごめんねえ♪ お兄ちゃん♪ おっぱい揉みすぎ  
てお兄ちゃんの顔に当たっちゃった♪」

美紀

「んん♪ 今のは私が悪いから、ノーカン♪  
はあ、はあ♪ おっぱいサービスって事で♪  
ん、あ、あん♪ ラッキーだねえ♪ お兄ちゃん  
♪」

美紀

「偶然とはいえ、私の処女乳首に触れた初めて男の  
人だよ？ んん♪ 光栄だねえ♪ 童貞のくせ  
にい♪ 処女乳首に触れた、なん、てえ♪ 一生  
自慢できるね♪」

美紀

「今の感触を思い出してえ♪ もっとお♪ おちん  
ぽシコシコしよお？ 乳首い♪ んん♪ はあ、  
はあ……見てえ♪ いっぱいシコシコしてえ♪」

---

---

美紀

「ん、ひゃん♪ う、うう♪ はあ、はあ……♪  
それそれ♪ しししし♪ しししし♪ しししし♪  
しししし♪ しししし♪」

美紀

「おちんぽ頑張れ♪ おちんぽ頑張れ♪ おちん  
ぽ頑張れ♪ おちんぽ頑張れ♪」

美紀

「おちんぽ♪ おちんぽ♪ おちんぽ♪ おちんぽ  
♪ はあ、はあ……んん♪ ほらほら♪ ちんぽ  
♪ ちんぽ♪ ちんぽ♪ ちんぽお♪」

美紀

「きゃっ!？ やあ♪ お兄ちゃんったらあ♪ 手  
だけじゃなくて腰までへこへこ動かして♪ ん♪  
はあ、すっごい、あん♪ 情けない恰好だよ？  
変態だね♪ ド変態だね♪」

美紀

「はあ、はあ……んん♪ やあ♪ 何だか、私まで  
気分高まってきちゃったよ……んん♪ はううう  
♪ はあ、はあ……んん♪ はあ、はあ……  
ちよっただけサービスしてあげたくなってきた  
ちゃった♪」

美紀

「ね？ お兄ちゃん♪ 今からとっておきの前戯を  
教えてあげる♪ 童貞のお兄ちゃんには刺激が強  
すぎるかもだけど、しっかりこの快樂、覚えて  
いってね♪ いくよ？」

---

---

美紀

「はぷっ！ んん、ちゅ♪ ちゅぷぷっ！ れ  
るっ！ んん♪ ちゅ♪ ちゅ、ちゅ、ちゅ♪  
ちゅぷっ！ ん、ぢゆるるっ！ れろれる……  
ちゅ♪ ちゅ♪」

美紀

「はあ、はあ……んん♪ どう？ ビックリし  
ちゃったかな？ 今ね？ お兄ちゃんのお耳を舐  
めちゃったの♪」

美紀

「契約上私がお兄ちゃんに触れるのは問題ないから  
ね♪ いっぱいお兄ちゃんのお耳を犯してあげる  
から、シコシコ止めちゃダメだよ？」

美紀

「はい、じゃあいつきまゝす♪ れゝゝ……ぢゆる  
るっ！ んちゅ♪ れろれるっ！ ぢゅっ！  
ちゅぷっ！ ちゅ♪ れるれるっ！ ちゅ♪  
ちゅぷぷっ！ んん！ ぢゅっ！ ぢゅぷぷっ！  
れるれるれる……んん♪ ちゅ♪」

美紀

「はむっ！ んん♪ ちゅ♪ ちゅ♪ れろれるれ  
ろれる♪ んん♪ お兄ひやゝん♪ んん♪  
ぢゅぷっ！ ちゅ♪ れるぷちゅっ！ ぢゅっ！  
ぢゅりゅりゅりゅゝゝ♪ ちゅ♪」

美紀

「シコシコゝ♪ んゝちゅ♪ れろれる、シコシコ  
ゝ♪ ちゅ♪ ぢゅぷっ！ れろれる……ちゅ♪  
おちんぽお♪ おひんぽおゝ♪ シコシコゝ♪  
ちゅ♪ ぢゅっ！ ちゅぷぷっ！ ちゅゝ♪  
ちゅ♪ ちゅっ、ちゅ♪」

---

---

美紀

「きもひいい？ お兄ひゃ〜ん♪ れろれる♪ ん  
ん♪ うんうん♪ きもひいいんだね〜♪ ん  
ぢゅっ♪ ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪ れろれるろ  
れる♪ ちゅぶぶぶ〜♪ ぷはっ！」

美紀

「はあ、はあ、妹に、んん♪ こ〜んなエッチで厭  
らしい耳舐めされるなんて、ちゅ♪ ぢゅりゅ  
りゅりゅりゅ〜♪ んん♪ ぷはっ！  
はあ、はあ……♪ んん♪ きつと世界でお兄  
ちゃんだけだよ〜？」

美紀

「はあ〜むっ♪ れるれる♪ ちゅぶぶっ！ ちゅ  
♪ ぢゅるるっ！ ぢゅぶっ！ んんっ！ れ  
るれるれる……ちゅ♪ ぢゅりゅっ！ れろ  
れる♪ んん♪ んちゅっ！ ちゅ♪ ちゅ♪」

美紀

「ほ〜ら、おひんぽシコシコ♪ おひんぽシコシ  
コお♪ ん、ちゅ♪ れろれる♪ ちゅ♪ ん〜  
〜ちゅ♪ れ〜〜……れるれるれるるう  
♪ ぢゅりゅりゅ♪ ぢゅぶぶぶっ！ ちゅぶっ  
♪ ちゅぱっ！ はあ、はあ、はあ……♪」

美紀

「おちんぽどう？ 耳舐めされながらの手コキオナ  
ニ〜♪ んん♪ 気持ちいいんだあ♪ よ〜く言  
えました♪」

---

---

美紀

「ほら♪ おちんぽおちんぽ♪ シコシコ♪ シ  
コシコ♪ おちんぽいっぱい手のひらで虐めてイ  
こうねえ♪ ほらほら♪ おちんぽシコシコ♪  
おちんぽシコシコ♪」

美紀

「んん♪ はあ、はあ……♪ お兄ちゃんったら♪  
おちんぽからダラダラおちんぽ汁垂らしちゃっ  
てえ♪ きったなくい童貞汁の匂い、ここまで届  
いてるよお♪」

美紀

「んん♪ スン♪ スンスン♪ はあ……♪  
これえ♪ すっ……い♪ 童貞くさ……い♪ ぷぷ  
ぷ♪ ほんと、童貞特有のこの匂いって何なん  
だろうねえ？ 今まで見てきたシヨタ童貞ちんぽ  
もみ……んな同じ匂いさせてるんだもん。ほんと不  
思議……♪」

美紀

「はあ、はあ……♪ おちんぽ♪ おちんぽおち  
んぽおちんぽおちんぽ……♪ ねえねえ♪ お兄  
ちゃん♪ もっとシコシコしていっぱい童貞おち  
んぽ汁出してえ♪ もっと私に童貞の匂い嗅がせ  
てえ♪」

美紀

「んん♪ スン♪ スンスン♪ すうう……♪  
はあ……♪ すうう……♪  
はああ……♪ んん♪ これえ♪ クセ  
になっちやうよお♪」

---



美紀

「やあ♪ 匂い嗅いでるだけでここ……おまんこ♪  
濡れてきちゃったあ♪ えへへ♪ そうだよ  
？ 妹のおまんこ♪ お兄ちゃんったら、おち  
んぽの匂いだけで妹をメスにしちゃうんだもん♪  
罪な変態さんだね♪」

美紀

「そんな変態お兄ちゃんには、耳舐めの刑でお仕置  
きしてあげちゃうから♪」

美紀

「それじゃあ、今度は反対の耳に……♪」

美紀

「あ……むっ♪ ちゅ♪ ちゅ……♪ ちゅ♪  
れ……♪……♪ れろれろれろ♪ ん……ちゅ  
♪ ちゅ♪ じゅぷっ！ ちゅ♪ ぢゆるるっ！  
んぷっ！ れろれろ……ちゅ♪」

美紀

「んん♪ ろう？ お兄ひゃん♪ んちゅ♪  
ぢゅっ♪ ちゅぷっ！ ぢゅぷぷっ！ ちゅ♪  
ちゅうう……♪ ちゅぱっ！ はあ、はあ……♪  
こっちのお耳も犯してあげるからねえ♪」

美紀

「あ、こら！ おちんぽシコシコ止めちゃダメだ  
よお？ 耳舐めだけ堪能しようなんて許さないん  
だから！ ほら、しっかりおちんぽ握って？  
ね？」

美紀

「ん、いい子いい子♪ そーれ、し……し……♪  
し……し……♪ おちんぽシコシコ♪ おちんぽ  
シコシコ♪ そのまま……ん……ちゅ♪」



---

美紀

「ほらほら♪ シコシコ♪ シコシコ♪ おちんぽ  
おちんぽ♪ おちんぽおちんぽ♪ シコシコ  
シコシコ♪ シコシコシコシコ♪」

---

美紀

「ちゅ♪ ちゅぷ♪ れろれろれろ……んゝれろぷ  
ちゅ♪ ちゅ♪ ぢゅりゅりゅっ！ んん♪  
ぢゅりゅりゅりゅりゅゝゝゝ♪ ぢゅ  
ぷっ！ んん♪ はむっ！ ちゅ♪ ちゅ♪  
ちゅぷっ！ ん、ちゅ♪ れろれろ♪ れろれろ  
れろれろゝゝ♪」

---

美紀

「ん♪ おちんぽお♪ んゝちゅ♪ 童貞おひん  
ぽお♪ いいよお♪ ちゅ♪ はむっ！ ちゅ  
ぷっ！ れろれろ♪ いっふあい気持ちよくなっ  
れえ♪ おちんぽお♪ おちんぽおちんぽお♪  
んむっ！ ちゅ♪ れる、れるれる……ちゅ  
♪」

---

美紀

「あゝん♪ お兄ちゃん涎だらだら♪ 口開きっ  
ぱなしだしぃ♪ アへ顔目前って感じで……あは  
はは♪ なゝにぃ？ 変なお薬でもキメちゃって  
るのお？ ぷぷぷ♪ 流石の童貞でもここまで  
の変態は中々いないと思うな♪」

---

---

美紀

「お兄ちゃんの変態♪ 変態変態ド変態♪ 妹の舌で感じてシコシコしちゃう童貞ド変態マゾさんだゝ♪ あははゝ♪ おちんぽいいねえ♪ 気持ちいいねえ♪ おちんぽおちんぽゝ♪ シコシコしようねえ♪ おちんぽシコシコ♪ おちんぽシコシコお♪」

美紀

「ん？ あん♪ 体すっごい震えてるゝ♪ イクの？ 妹に罵られてイっちゃうのお？ ザコザコ童貞ちんぽ射精しちゃうのお？」

美紀

「ふふふ♪ おちんぽいいよ♪ イっちゃお♪ んん♪ 妹の乳首見ながら耳舐めされて、童貞ザーメンこき捨てちゃお♪」

美紀

「ほらほら♪ おちんぽ頑張れ♪ おちんぽ頑張れ♪ シコシコぴゅっぴゅ♪ シコシコぴゅっぴゅ♪ おちんぽおちんぽ♪ おちんぽおちんぽお♪ おちんぽおちんぽ♪ おちんぽおちんぽおおお♪」

美紀

「あ、きやああ！？ わっ！ お兄ちゃん！ 痛い！ おちんぽ痛いよお！ これ、びゅびゅびゅゝゝって、あ、きやつ！ やっ！ ダメ！ かかってるから！ おちんぽミルク、んん！ やあっ！」

---

美紀

「ひゃうっ！ んん！ ちょっとまつ！ んん  
ん！？ んんっ！ ん！ ひゃっ！ はあ、はあ  
……んん！ お兄ちゃんの馬鹿あ……髪にまでか  
かって……ううう……童貞おちんぽ凄いい♪」

美紀

「んひゃっ！ ええ！ まだ出て！ ひゃっ！  
やあっ！ んっ！ ちょっと！ お兄ちゃん！  
ったらあ……うう……もう興奮しすぎだよお……  
…♪」

美紀

「はあ、はあ……んん、ふううう♪ えへへ♪  
やっと落ち着いてきたかな？ んん♪ 凄い匂い  
♪ おちんぽミルク……お兄ちゃんのミルクう……  
…ん、じゅる♪ じゅるるる……んん♪ ご  
くっ、ごく、ごく、ごく……はううう♪ ちょっと  
とクセがあっておいしい♪」

美紀

「ん？ えへへ♪ ちょっとやりすぎちゃったかな  
♪ お触り禁止コースでおちんぽミルクを飲んで  
あげるなんて、普通はしないんだからね？」

美紀

「でも♪ これで覚えてくれたかな？ 女の子の  
勃起乳首とエッチなみ・み・な・め♪」

美紀

「普段見てるあの子はこんな乳首なんだって想像  
できるようになったでしょ？ ピンク色で、形も  
綺麗で♪ 一人で寂しくオナニーすると勃起し  
ちやうち・く・び♪」

美紀

「ほくら♪ お兄ちゃんの好きなアイドルもきっと今頃乳首オナニーで勃起乳首を虐めてるかもしれないよ？ オナニーイクう♪ イクイクイツクううう……って♪」

美紀

「えへへ♪ 童貞のお兄ちゃんには刺激が強すぎたかな？ でくも♪ 本番はこれからだよ？ 次は童貞卒業には欠かせないお勉強♪ そ♪ おまんこのお勉強♪ 一緒に頑張ろうね♪」

◆トラック03

美紀

「お・ま・ん・こ♪ おまんこ♪ おまんこお♪ えへへ♪ どう？ お兄ちゃん♪ おまんこって言われるだけで興奮しちゃう？」

美紀

「そ♪ おまんこのお勉強♪ ちよくつと童貞のお兄ちゃんには刺激が強すぎるかもしれないからね♪ まずこっやって耳元でおまんこって響きに慣れさせないと、いざおまんこ見た途端、びゅびゅくって射精しちゃうかもしれないから♪」

美紀

「ほくら♪ お・ま・ん・こ♪ おまんこおまんこ♪ お・ま・ん・こお♪ えへへ♪ おまんこだよ♪ おまんこおまんこお♪ おまんこ♪ お・ま・ん・こお♪」

美紀

「ねえ♪ お兄ちゃん？ 今ね？ 私のおまんこどうなってるか分かる？」

---

美紀

「ふふ♪ 聞こえた？ そうだよお♪ さっきお兄ちゃんの為に乳首オナニーしてる時からね？ 私の『おまんこ、すっかりぐちゅぐちゅに濡れちゃったの♪』」

美紀

「女の子はね？ 勃起乳首をイジイジすると全身が敏感になって、おちんぽ欲しいよ〜って、おまんこぱくぱくさせちゃうのお♪」

美紀

「ほら♪ 今から私の右手をパンツの下……おまんこの中に入れちゃって……」

美紀

「ひゃうん♪ や、あん♪ え、えへへ♪ すっごい♪ これ♪ 自分でも驚いちゃった♪ こんなに濡れるなんて……あん♪ やあ♪ 凄い♪ 軽く触っただけでビクってしちゃうよお♪」

美紀

「ねえ、お兄ちゃん♪ 興奮してくれてる？ ん♪ いいね♪ お勉強にはまず興味を持ってもらわなくちゃダメだから♪ しっかり想像して？ おまんこをイメージして、いっぱい興奮してえ♪」

美紀

「ほら♪ んん♪ おまんこ♪ おまんこお♪ お・ま・ん・こ♪ お・ま・ん・こお♪ 妹のくぱくぱおまんこお♪ くちゅくちゅおまんこお♪」

---

美紀

「んん♪ はあ、はあ……ダメだよ、お兄ちゃん♪  
まだシコシコしちゃダメ♪ 今は我慢してえ♪  
童貞ちんぽはただでさえ我慢弱いんだから、ん  
ん♪ 今の内に、あん♪ んん♪ 我慢を覚えと  
かないとダメだよ？」

美紀

「はあ、はあ……えへへ♪ もっとおまんこの響き  
に慣れようねえ♪ おまんこ♪ おまんこ♪ お  
まんこおまんこお♪ ぐちゅぐちゅおまんこに、  
いっぱいおちんぽ入れたいよね？ 童貞卒業した  
いよね？ はあ、はあ……」

美紀

「おまんこ♪ おちんぽ♪ おまんこ♪ おちん  
ぽお♪ はあ、はあ……おまんこ好きい？ 妹お  
まんこちゆきい？ 入れたい？ おまんこ入れた  
いのお？」

美紀

「ふふ♪ でも、ダメ♪ 想像の中でだけ犯し  
て？ 童貞らしく、頭の中でおまんこ犯していっ  
ぱい興奮してね♪」

美紀

「はあ、はあ、んん♪ はううう♪ はあ、はあ…  
…ふうふう……♪」

美紀

「えへへ♪ ひとまずおまんこ囁きはこれで終わり  
♪ どう？ おまんこの響きには慣れてくれた？  
って、あはは♪ お兄ちゃんったら歯食いし  
ばっちゃってえ♪ 一回出したのにシコシコしたく  
て堪らないんだ♪」

---



美紀

「じゃあここからは生のおまんこの形を勉強しようか♪ あはは♪ ちよっとお♪ お兄ちゃん鼻息荒すぎい♪ 楽しみにしてくれるのは嬉しいけど、もうちよっと大人しくしてってばあ♪」

美紀

「ほらほら♪ お座りお座り♪ ワンワン♪ っ  
て、えへへ♪ ほんとにお座りしちゃってえ♪  
んもう、可愛すぎておまんこきゅんきゅんしちゃ  
うよ〜♪」

美紀

「んん♪ はあ、はあ……♪ やあ♪ 私のおまん  
こも期待しちゃって♪ んん♪ これしゅごいか  
もお……過去一に興奮してる……おまんこ洪水止  
まんないよお♪」

美紀

「じゃあ、いくよ？ 現役㊦のぷにぷにおまんこ、  
見せちゃうからね？ とろとろビラビラおまん  
こお♪ ん、ほら♪ それっ！」

美紀

「はううう♪ 見せちゃった♪ お兄ちゃんにおま  
んこパンツ見せちゃったあ♪」

美紀

「あうう♪ どう、お兄ちゃん？ ピンク色のパン  
ツに透けたおまんこ♪ ビラビラまで浮き上がっ  
てて……エッチ？ エッチかな？」

美紀

「ひやううっ！？ お、お兄ちゃん？ ダメだよお  
……そんな近づいちゃ、おまんこに当たっちゃう  
から……ダメ、めっ！ だよ！」

美紀

「はあ、はあ……♪ ん♪ いいこいいこ♪ そのままおちんぽ勃起させながら待て！ だからね？ いい？ 分かった？」

美紀

「よしよし♪ それじゃあこのままパンツをずらして……」

美紀

「ひゃん♪ やあ♪ おまんこ蒸れてたからスー  
スーするう♪ えへへ♪ お兄ちゃん♪ ど  
う？ 念願の生おまんこだよ♪」

美紀

「現役△の生おまんこ♪ しかも発情中の♪ こん  
なエッチなおまんこ中々見られないんだから♪  
ラッキーだね♪ お兄ちゃん♪」

美紀

「ほくら♪ くぱあ♪ おまんこくぱあ♪ お兄  
ちゃん♪ 初めまして♪ 美紀のおまんこで  
す♪ そう♪ お兄ちゃんちんぽで興奮したお  
まんこですよ♪ おまんこおまんこ♪」

美紀

「見てみてえ♪ こゝこ♪ おまんこの先っぽ♪  
ぷくぷくって膨らんでるとこ、クリトリスって言う  
んだよ？ って、流石の童貞お兄ちゃんでもこれ  
ぐらいは知ってるか♪」

美紀

「でも生クリトリスは初めてだもんね♪ よろく  
覚えとくんだよ？ ここはね♪ 女の子が一番敏  
感になっちゃう所なんだから♪」

---

美紀

「皮に隠れてるクリを出して……んあ！ きゃんっ！？ んん♪ やあ♪ 剥いただけでイキそうになっちゃった♪」

美紀

「んん♪ ここを優しく触りながら、おまんこのヒダヒダをかき分けてえ……んん♪ あ、あ、あ、あんっ♪ やあ♪ おまんこお♪ 気持ちいいよお♪」

美紀

「はあ、はあ……♪ んん♪ あうう♪ それでえ、こゝこ♪ おまんこの奥見える？ ちっちゃい穴があるでしょ？」

美紀

「下の穴がセックスする為のおまんこ穴で、上の穴がおしっこする為の穴だよ？ 童貞は興奮するとよく間違えちゃうから覚えておいてね？」

美紀

「つて、んん♪ やあ♪ 解説中にい、んん♪ あっ！ だめえ♪ おまんこひくひくしてるからあ♪ はうう♪ 鼻息かけちゃダメだよお♪」

美紀

「おまんこそんなに好きい？ えへへ♪ じゃあ特別に私がおまんこでの手マンの仕方を教えてあげる♪」

美紀

「まずはおまんこに入れる指を濡らして……つて、あ。ローションが無いや」

---

---

美紀

「仕方ない。じゃあ指を唾液で……んゝちゅ♪ れるれる、ちゅ♪ んじゅっ！　じゅぷぷぷっ！　んぷっ！　れるれるれる……んゝじゅっ！　れるぷちゅっ！　ちゅ♪　ちゅゝゝ……んじゅっ！　ぢゅぱあ！」

美紀

「はあ、はあ……♪　んん♪　これで良し♪　そのままおまんこに入れてえ……」

美紀

「ひやうん♪　やあ♪　おまんこ凄いい♪　はあ、はあ……♪　こんな、んん♪　トロトロになってるなんてえ♪　はううう♪　しゅごいよお♪　お兄ちゃんん♪」

美紀

「はあ、んん♪　あっ♪　ひゃん♪　おまんこのビラビラかき分けてえ♪　おまんこのお肉捲ってえ♪　膣中でぐちゅぐちゅかき回すのお♪」

美紀

「んん♪　ねえ♪　おまんこ見てえ？　お兄ちゃゝん♪　おまんこぐちゅぐちゅする所いっぱい見えてえ♪」

美紀

「はあ、はあ……♪　あん♪　やあ♪　おまんこお♪　指出し入れてえ♪　んん♪　ぐちゅぐちゅ♪　ぐちゅぐちゅうゝ♪」

美紀

「こゝ♪　おまんこの入口上を、んん♪　こうやって、クイってするとお……♪　ひやうううっ！　あっ！　やあっ！　あんっ♪」

---

---

美紀

「あううう♪ そう、ここをクイクイすると感じちゃうのお♪ 女の子はあ……んくん♪ 女の子なんかじゃなくってえ♪ 発情したメスはあ♪ みくんなこうやっておまんこ弄ると一匹のスケベなメスになるのお♪」

美紀

「ああ、あん♪ おまんこからお汁洩れてえ♪ えへへ♪ 女の子のメス汁だよお♪ あっ、んん♪ おちんぽと同じで、女の子もエッチする時にお汁洩れちゃうのお♪」

美紀

「はあ、はあ……ねえ、お兄ちゃん♪ 妹のおまんこ汁、舐めて？ もちろんベッドに零れたお汁だよ？ おまんこには触れちゃだゝめ♪」

美紀

「ほら、わんちゃんみたいになれるじゆるじゆるって♪ 舐めて♪ な・め・て♪」

美紀

「きやあ♪ お兄ちゃんったら本当に舐めてる♪ ベッドに零れたおまんこ汁う♪」んん♪ あああん♪ これしゅーいよお♪ おまんこオナニー捗っちゃう♪ おまんこじゅぶじゅぶ激しくなっちゃうよおお♪」

美紀

「ほら♪ お兄ちゃん♪ おかわりだよお♪ んん♪ それそれ♪ おまんこじゅぶじゅぶ♪ おまんこじゅぶじゅぶ♪」

---

---

美紀

「舐めて♪ 舐めて♪ おまんこからいっぱいお替り出してあげるからあ♪ おまんこジューズごくごく飲ませてあげるからあ♪」

美紀

「はあ、はあ♪ あうう♪ やあ♪ やらあ♪ 指止まんない♪ おまんこ弄るの止められないよお♪」

美紀

「はあ、ん♪ あ、あ、あ、ああ♪ んん♪ はひゅっ！ んん♪ んあっ！ あ、あ、ああ♪ おまんこいい♪ おまんこお♪ おまんこおまんこおまんこおまんこおおお！！」

美紀

「やあ♪ イク！ イっちゃうう！ おまんこオナニーでイクう！ お兄ちゃんに飲ませながらイっくううううううう！！」

美紀

「んっ！ ひやあああああああああああ  
あっ！！？？」

美紀

「んひやああっ！ やあっ！ おまんこおおっ！  
やあっ！ んんん！ おまんこダメっ！ こ  
んなの知らない！ おまんこお！ おまんこしゅ  
ごいいい♪ 壊れひやうううっ！」

美紀

「はうううう！ これっ！ やっ！ お兄ちゃんの  
顔、潮で濡れて！ ひやっ！ 止まらな、い  
い！？ んひやああっ！」

---

---

美紀

「ひやわあああああつ！ んああつ！ また、おまんこおおお！ おまんこらめええ！  
やあつ！ らめなのおおつ！ おまんこ吹いちややああつ！ おまんこジューシューううー！  
んんん！ やらあつ！ あ、あ、あああつ！  
やあらあああ！！」

---

美紀

「はひっ！ んはっ！ はあ、はあ、はあ、はあ……  
んんっ！ はふっ！ ひやっ！ はあ、はあ……  
んんっ！ ん、んはっ！ はあ、はあ……  
あつ！ あ、あ、はあ……はふううう……」

---

美紀

「んん♪ やっと、落ち着いてきた……はあ、はあ……  
んもう、まさかこんなにイっちゃうなんて、  
ううう、予想外だよお……」

---

美紀

「ふう、ふう……んん、ねえ、お兄ちゃん？ ちゃんと私がイク所見てくれた？ 女の子のイカせ方、分かってくれた？」

---

美紀

「って、あらら♪ お兄ちゃんったらおまんこジューズ舐めるのに必死になっちゃって……♪ 本当にワンちゃんみたいだねえ♪」

---

美紀

「ほくらお兄ちゃん♪ おまんこジューズ美味しいでちゅか？ 妹の搾りたてほかほかのおまんこジューズでちゅよお？ ほくらペロペロ♪ ペロペロ〜♪」

---

---

美紀 「んん♪ 無心にペロペロするお兄ちゃん♪ とつてもエッチで無様で……んん♪ 興奮しちゃうよおお♪」

美紀 「ん？ あれ？ もう全部舐めちゃったの？ もう♪ 必死すぎい♪ 全く、おまんこ授業の途中にジュースを飲み始める生徒なんて聞いたことないな♪ お兄ちゃんったら不良生徒さんだね♪」

美紀 「つて、あれ？ お、お兄ちゃん？ ん？ やっ、え？ ちょ、顔そんな近づけちゃ……あつ、ちよつとまつ！ それは許してない、つて、ひゃああああつ！！！？？」

美紀 「きやああつ！？ お、お兄ちゃん！ そんなっ！ やっ！ ダメえ！ おまんこしゃぶりついちゃっ！ ひゃんっ！？」

美紀 「ちょ、ちよつと！ ダメだつてばあつ！ お触りなんて契約違反っ！ ひゃああつ！？ んんっ！ やあつ！ ちよつ！？ ぢゆるぢゆる吸わないでつてばあつ！！！」

美紀 「ん、んん！ やあつ！ お、おまんこ舐められっるなんてえ！ は、初めてなのにい！ んんっ！ ひゃっ！ あつ！ ちよつ！ やあつ！ そ、そこおっ！ おまんこらめえっ！ んんっ！ はうううっ！」

---



---

美紀

「んっ！ ちょっと！ この変態！ 変態お兄ちゃんんんん！ んはっ！ はっ！ やっ！ ちよっ、まっ！ ダメっ！ おまんこっ！ おまんこやらあっ！」

美紀

「いったばかりで、んっ！ あ、あ、あ、ああっ！ 敏感にいつ！ なってるか、らあ！ んっ！ やっ！ ダメ！ ちよっ！ そこはクリトリス……はうううっ！？」

美紀

「ひやあああああっ！ んっ！ ほんとダメっ！ ダメだっ、って、ばあっ！！ んっ！ いい加減にして、お兄、ひゃんんっ！！??」

美紀

「んああっ！ やっ！ そんな吸っちゃっ！ やああっ！ ば、バカあっ！ こんなところで勉強の成果、発揮しなくて、いい、のおお！ んっ！ やあっ！ はうううっ！？」

美紀

「はあ、はあ、はあ、はあ……んっ！ やっ！ ああっ！ ダメ！ ほんとにダメ！ おまんこイク！ こんな変態に、おまんこ舐められて、んっ！ イク！ イクイクイクっ！！ イっくうううううううううううううううううううう！！??」

美紀

「ひやわあああああああああっ！！??」

---

美紀

「んひゃああっ！ やっ！ ああっ！ やっ！ やめっ！ んんっ！ ちょっ！ ダメだってっ！ やっ！ んあああっ！ お兄ちゃんっ！ お兄ちゃんお兄ちゃゝゝんっ！」

美紀

「んんんんっ！！ んはっ！ はっ！ はっ！ はうううっ！ んんっ！ やあ、止まんない……おまんこ汁止まんないよお……」

美紀

「やあ！ お兄ちゃん飲んじやダメえ……♪ おまんこ汁飲んじややらあ……んん！ やっ！ そこ、やあっ！ おまんこの穴だからあ！ おまんこジューズ出ちゃう、また出ちゃうのおお！」

美紀

「ひゃあっ！ ダメ！ イクっ！ イクイクっ！ イっきゆうううううっ！！」

美紀

「にゃああああああああああああああああっ！！！！」

美紀

「やああっ！ ダメええ！ おまんこ汁飲んじややああっ！ お兄ちゃんだめええ！ んんんんっ！ やっ！ は、は、はっ！ はひゅっ？ んひいいっ！ イっきゆううう！！」

美紀

「んんっ！ んはっ、あ、あ、ああ……おお、おまんこ……♪ おまんこイってりゆう……おまんこおまんこ……おまんこお♪ お、お、お、お」

---

美紀

「んひい♪ やあらあ♪ 童貞のお兄ひゃんなんかにい……♪ んん♪ イカされる、なんてえ♪ んほっ♪ お、おとおお♪ イギユうう♪ おまんこイきゅのおお♪」

美紀

「んひいいい♪ おまんこお♪ また吹いてええ♪ おまんこお♪ おまんこおまんこおまんこおまんこお♪ んああ♪ やああ♪ 気持ち、いいのお♪ は、はっ♪ はひゅうう♪」

美紀

「ん、んん♪ お、お兄、ひゃーん……♪ 飲んれえ♪ おまんこジューチュ……♪ 全部飲んれえ……♪」

美紀

「もう、イキシゅぎてえ♪ 頭回んにやいい♪ 契約とかもういいのお♪ おまんこお♪ 気持ちよくなりゅのおお♪ おまんこおまんこお♪ おまんこ舐めれえ♪」

美紀

「んひいっ！？ はっ！ はううう♪ クリい♪ いいよお♪ ワンちゃんみたいにい♪ おまんこ舐めてえ♪ ペロペロしてえ♪」

美紀

「んん♪ はうっ！ はあ、はあ……んん♪ あうう♪ あっ、やん♪ はあ、はあ♪ んん♪ おまんこ気持ちいい♪」

---

美紀

「お兄ちゃんをひざまずかせて、おまんこ舐めさせるなんてえ♪ んん♪ 童貞の授業にしては、あ、ああ♪ 刺激が強すぎ、かもお♪ んん♪ あん♪」

美紀

「はあ、はあ……♪ ん、大分お掃除出来てきたかな……♪ んん♪ はい、お兄ちゃん♪ ペロペロストップだよ♪ って、あ、コラ！ お兄ちゃんストップ！ ストップだってば！」

美紀

「んっ！ ひゃっ！ やっ！ お兄ちゃん！ ダメ！ 落ち着いて！ 落ち着いて……え？ やっ！ ちょ！？ ふええ！？ ひやわあ ああっ！？」

◆トラック04

美紀

「んんっ！ やっ！ ちょ、お兄ちゃん！ ただでさえルール違反なのに押し倒すなんて！ これ私じゃなかったら訴えられてるよ？ って、え？ お、お兄ちゃん？ 顔近……て、や、まさか、え？ や、やっ！ やっ！ やだっ！ やめっ！ ひいいいっ！？」

美紀

「んん！ んん！ んん！……？？ んんっ！？ ちゅ！ ちゅぷっ！ ん、んんっ！ ちゅぷっ！ ちゅ、ちゅ……ちゅうう……ちゅ！」

美紀

「はぷっ！ んあっ！ やっ！ お、兄、ちゃん！  
やめっ！ んぷうっ！ ちゅ！ ぢゅっ、れ  
る、ちゅ！ ぢゅぷぷっ！ んむうう！！  
ちゅっ！ れろれろ……ちゅ、ちゅ、んちゅ！」

美紀

「んぷっ！ ば、ばか……ん！ ちゅっ♪  
はあ、や、らめえ……♪ んちゅっ！ こ、きゅ  
う……ん♪ れきなっ、あむっ！ んちゅ♪  
はぷっ！ ん！ おぷっ！ くぷっ！ う、ん  
んん！ ちゅ♪」

美紀

「れるれる、ちゅ♪ ぢゅぷっ！ んん！ 私の、  
んん！ 初めて……あぷっ！ んちゅっ！  
ちゅ、ちゅ♪ れろれろ……ちゅ♪ んちゅ♪  
きしゅう♪ んん！ こんな、奪われ、んちゅ♪  
ちゅ♪ んぷっ！ んん！ ん、ん、ん！  
ちゅぱっ！ なんてえ！！！」

美紀

「はぷっ！ あ、んん！ ちよっ、んちゅ♪ お、  
お兄ちゃん、興奮……あむっ！ ちゅ♪ ちゅ♪  
れるれるれる……んん……ちゅ♪ し  
しゅぎい……♪ だ、よお♪ あむっ♪ ちゅ♪  
れるろ、ちゅ♪ んちゅ♪ はむ、れろく  
ちゅ♪ れるれるれる……♪ ぢゅぷっ！  
ちゅ、ちゅ、ちゅ♪」

美紀

「ぷはっ！ はあ、はあ、はあ……♪ あうう♪  
んん♪ やあ♪ どさくさに紛れて胸……あ  
ううう♪ 触らない、でえ♪ ひやうっ！？」

---

美紀

「やあ！ んん！？ ちゅ♪ れろ、れろれろ……  
ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪ はむ、ちゅぷ♪ ううう  
……ん♪ ちゅ♪ ちゅ、れろれろ……ちゅ♪  
ちゅ♪ ちゅ♪」

---

美紀

「んん！？ ぷはっ！ ひやっ！」ら、らめっ！ そ  
こ、乳首！？ んん！ はうう！ 勃起乳首だか  
らあ♪ コリコリしちや……あううう！ ん  
んっ！ ちよっとっ！ んん！ ちゅ♪ は  
ぷっ！ れろれろ……ちゅ♪ ちゅ♪」

---

美紀

「んん！ んひやっ！ 指使い、これ、私と同じ……  
……あうっ！ 童貞のクセ、にい！ んん！  
やあっ！ はあ、はあ……♪ さ、さっきの乳首  
オナニーで覚えたの？ 嘘でしょ……お兄ちゃ  
んったら、こんな物覚えがいいなんて、聞いて  
な、いい！？ あっ！ やん♪」

---

美紀

「んひやっ！？ はあ、はあ……♪ らめえ♪ ん  
ぷっ！ ちゅ♪ はむ、ちゅ♪ れろれろ……  
ちゅ♪ ちゅ♪ んちゅ♪ はぷっ！ んん！  
ん、ちゅ♪ れろれろれろ……ちゅ♪ はあ、  
やらあのおう！」

---

美紀

「おっぱいもみもみなんで、卑怯……んん！ はむっ！ ちゅ♪ はぶっ！ あ、やっ！ キス、んん！ やっ！ ひゃん！？ んああっ！ あ、あ、あ、あああっ！ ほんとダメ！ お兄ちゃん、上手すぎ！ ど、童貞のクセにい！ 童貞の変態のクセにいい！！」

美紀

「んあああっ！ あ、あ、あああっ！ やっ！ らめっ！ 乳首イク！ まらイク！ 乳首でおまんこイっきゅうううう！！؟؟」

美紀

「んっ！ んんんんんんんんんっ！！??」

美紀

「はぶっ！ んんんんっ！ やめっ！ あぶっ！ んちゅっ！ そんな、イってりゅ、んん！ ちゅ♪ ちゅぶっ！ れろちゅぶっ！ のにいつ！ ぷはっ！ はあ、ら、らめえあつてばあ！ イキながらきしゅなんれ……んん！？ ちゅっ！ ちゅぶっ！ はぶっ！ んん！ ちゅ♪ ちゅぶっ♪ れりゅれりゅれりゅ……んん♪ んぶっ！」

美紀

「ん、んんっ！ ぷはあっ！ はあ、はあ、はあ、はあ……はあ……ふうう……まったく……まったく……まったく……ぷくうう……！ こんな事許した覚えはないのに！ 妹のファーストキスを奪って、あまつさえ妹乳首を弄るなんてえ！ バカ！ バカバカ！ バカお兄ちゃん！」

---

美紀

「むううう！ にやにやするなうう！ 童貞のくせに童貞のくせに童貞のくくせうにうう！  
くうう！ 何かこのままだと尺全としない……  
だって！ これじゃあ私が童貞のお兄ちゃんなんかにかいカされたおまんこガバガバ突って事になっちゃうじゃん！」

美紀

「もしそんな事が友達にバレたらと思うと……  
ううう！ ダメダメ……そんなのダメええ！ んん！ えいっ！」

美紀

「はあ、はあ……もうここまで来たらお触りとかどうでもいいよね？ イカされっぱなしは絶対許せないし……んん！ はあ、はあ……このまま本番セックスでお兄ちゃんの童貞奪って、ひいひい泣かせてあげる！」

美紀

「んっ！ こら！ 逃がさないん、だか、らっ！  
えい！ 大人しくして、ってえ！ お兄ちゃん！」

美紀

「はあ、はあ……んん！ お兄ちゃんの童貞は、私が奪って……んんっ！ あげ……るうっ！  
んっ！ んん！ い、いたっ！ いいっ！？  
んっ！ はっ！ はあ、はひっ！ んん！ っふ！ んんんん！！」

---



美紀

「あ、ひゃあああああっ!? 痛っ! いっつひゃい! んん! あっ! はっ! はっ! はひっ! ん、んんっ!? やっ! ちよっ! これ、おつき! あ、んんっ! んやっ! ひゃわああっ!?!」

美紀

「はっ! はひっ! お、お、おとおおっ! ヤバ! お、おとおおお! おまんこおっ! こんなおっきいの……お、お、お、お、お! おまんこもれりゅ! もれりゅうううう!!」

美紀

「んっひゃあああ! おまんこお! や、らめええ! イキ癖ついて、あ、お、お、お、お! おまんこイキしゅぎりゅのおとおお!!」

美紀

「んひい! はっ! はっ! はっ! んはっ! はひゅっ! んああ! おとおお……♪ おまんこおお♪ おまんこおお♪」

美紀

「はっ! はひっ♪ ひゃふう……♪ はあ、はあ……♪ ん、あ、あ、あううう……♪ んん♪ 童貞の……クセ、にい……♪ ちよつと女の子の感じるとこ、んん♪ 教えたら……はあ、はあ、すぐ応用効かせてくるん、だからあ♪」

美紀

「あ、はあ、はあ……んん♪ ほんと、信じらんないくらい、優秀なおちんぽ……ん! はううっ! はあ、はあ……♪ んん♪」

---

美紀

「ふふふ♪ でも、んん♪ 本番セックスでは負けないんだから♪ ん、おまんこ教師としてえ♪ んあ♪ あんっ♪ あ、んん……♪ この変態おちんぽにい、おまんこの気持ちよさ、教え込んであげる！ んん！」

美紀

「はっ！ はっ！ はっ！ んあっ！ やっ！ ん、んん！ はあ、はあ！ ど、どう？ 私のおまんこ、は！ ん、はっ！ はあ、はあ、ん！ キツキツで、んん！ 気持ちいい、でしょ？」

美紀

「ふえ？ ん、んん！ そう、だよ！ このおまんこは、んん！ まだ、お兄ちゃんしか入った事のない、んん！ 神聖な処女、んん！ おまんこ、なんだか、らあ！」

美紀

「きゃっ！ あ、あ、あああっ！ んひいっ！ お、おほっ！ んん！ はあ、んひやっ！ ああ♪ んん♪ そ、そう！ いい！ イイ感じだよお♪ お兄ちゃん♪」

美紀

「ふふふ♪ ん、あ、おまんこが、処女だって、今更気づいたの？ ん、んん！ んひやっ！ はあ、はあ……♪ んん♪ ま、まあ、潮と一緒に血も流れちゃったから、んん！ 気づかないのも、仕方ないかも、だ、け、ど！ ん、あん！」

---

---

美紀

「ほんと、童貞は、何も知らないんだから♪ ん♪  
あ、あ、やつ！ きゃんっ！ んん♪  
きゃっ！ んん！ そんな怒った、てえ！？  
やつ！ ちよつと、お兄ちゃん！ おちんぽお！  
おまんこの奥までえ♪ トロトロになつてえ♪  
んあっ！ あ、あ、あ、あああ！！！」

---

美紀

「はっ！ ひゃっ！ ちよ、ちよつと！ お兄ちゃ  
んは動いちゃダメ！ ん、んん！ 私が！ ん、  
セックスの気持ちよさ教え込むんだからあ！！  
んあっ！ やっ！ あ、あ、あん♪」

---

美紀

「はあ、はあ……♪ んん♪ ああん！ やっ！  
ん、ん、んんん♪ はあっ！ こうやつ  
てえ♪ 腰を上下に、んん♪ 振ってええ！ お  
まんこピスト、んん♪ あううう！ してあげる  
ねえ♪」

---

美紀

「ん、ん♪ あ、あ、あ、あん！ あ、はひゅうう  
♪ はあ、はあ……♪ ん♪ ほら、いっちに♪  
いっちに♪ はあ、はあ、んん♪ おまんこパ  
ンパン♪ おまんこパンパン♪」

---

美紀

「どうどう？ おまんこピストン♪ んん♪ あ、  
あん♪ 現役の、おまんこピストン♪ はあ、  
はあ……♪ 気持ちいいでしょ？ ん♪ んん♪  
いいよね？ いいよね？」

---

美紀

「ここ、ん、よく見て？ はあ、はあ……おちんぽ入ってるおまんこお♪ んん♪ 入口広がってるの、見える？ ん、んん♪ んあ♪ あ、あ、あ、ああ♪ ど、どう？ このビラビラあ♪ おまんこの花びらをえぐってえ♪ んん♪ おちんぽ入ってるのお♪」

美紀

「あ、んあ♪ あ、あん♪ はあ、しっかり、んん♪ 覚えてね？ ん♪ あん♪ 万が一、んん♪ おまんこセックスのはずがアナルセックスになったりしたら、んん♪ お兄ちゃんは恥ずかしくてお外歩けなくなっちゃうかも、ん♪ しれないもんね♪」

美紀

「ん、んん♪ んあ♪ あ、あ、ああ♪ はあ、はひっ！ お、おほおお♪ そこお♪ いいのおお♪ んひいい♪ おまんこ、そこお♪ 入口上え♪ え、えへへ♪ さすが変態さん、だねえ♪ おまんこオナニーの事、覚えてたんだ……あん♪」

美紀

「そう、そこお♪ おまんこの敏感な所お♪ んあっ！ やっ、あん♪ はあ、はあ……♪ おまんこお♪ おまんこの『スポット』おお♪ カリで擦るようにい♪ 引っ搔いてえ♪ あ、あ、ああ！ あん♪」

美紀

「いいよお♪ お兄ちゃ〜ん♪ んん♪ あん♪  
おちんぽ上手♪ おちんぽ上手う♪ あ、あん♪  
　　こんな、ルール違反の本番授業なんてえ♪ 特  
別、なん、だからあ♪ あ、あ、ああん♪」

美紀

「はあ、はあ……♪ ん、そうだよ？ お兄ちゃん  
だけの特別♪ んん♪ あ、やん♪ 童貞で可哀  
そうな、んん♪ お兄ちゃんの為にい♪ 生意気  
なお兄ちゃんおちんぽに、んん！ あ、ん、あ  
ん！ え、えへ〜♪ おまんこを、い〜っぱい  
教え込んであげるんだからあ♪」

美紀

「ほら♪ ほらほらほら〜♪ 妹おまんこで  
イっちゃえ！ おまんこの気持ちよさでおちんぽ  
バカになっちゃえええ♪」

美紀

「んん♪ ん、ん、んあっ！ ああん♪ はひっ！  
んん♪ んあ！ やっ！ やあん！ は  
ひゅっ！ んん♪ おまんこお♪ いいよお♪  
おまんこお♪ おまんこおまんこお♪」

美紀

「はひゅっ！ お、お、お、お、お♪ これ、  
やあっ！ しゅ〜いよおお♪ お兄ちゃんのおち  
んぽおお♪ 相性よしゆぎりゆよおお♪ んん！  
んあああっ！ おまんこお♪ プシユプシユっ  
てしてえ♪ んん♪ はあ、はあ、はあ、ん  
ひやああ♪ 気持ちいいのおお♪」

---

美紀

「はあ、はあ、はあ……あん♪ やあ♪ んもう！  
お兄ちゃんのおちんぽ最高すぎて、これじゃ  
あ、あん♪ んん♪ また私もイカされちゃうか  
らあ……」

美紀

「特別に、んん♪ おまんこしながらあ♪ 耳も犯  
してあげる♪」

美紀

「はむっ！ んん♪ ちゅ♪ んちゅ♪ れろれろ  
……ちゅ♪ ちゅ♪ はぷっ！ んん♪ じゅる  
るる♪ んちゅ♪ れろれろれろ……んん♪  
ちゅ♪、ぢゅぷっ！ れるれる……ちゅ♪ ぢゅ  
ぷぷっ！」

美紀

「んん！！ んぷぷっ！ ぷはっ！ はあ、はあ……  
…♪ んん♪ あううう♪ やあ♪ おちんぽ大  
きくなってるう♪ んん♪ 耳舐めでまた興奮し  
てえ♪ この、変態♪ 変態変態♪ 変態おに  
ちゃん♪」

美紀

「れろろろ♪ れろれろれろれろ♪ じゅりゅ  
りゅりゅ……んぢゅっ！ ぢゅぷぷっ！ ちゅ♪  
ちゅぷっ！ んむう！ ちゅ♪ じゅりゅりゅ  
りゅ♪ んちゅ♪ はむっ！ ちゅ♪ れろれろ  
……ちゅ♪」

---

美紀

美紀

美紀

美紀

美紀

---

美紀

「でも♪ 私が好きなのはお兄ちゃんのおちんぽ  
だけだよお？ お兄ちゃんの事なんて♪ ん♪  
あ、あん♪ このおちんぽのオマケでしかないん  
だからあ♪」

---

美紀

「ん〜ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪ こうやってキスして  
あげるのも〜♪ 大好きなおちんぽに喜んで欲し  
いからでえ〜♪ お兄ちゃんの事なんて、んん♪  
妹に発情する変態としか思っていないもん♪ え  
へ〜♪ この変態♪ 妹に童貞奪われる情けな  
い変態お兄ちゃん♪」

---

美紀

「ん、あ！ あ、んん♪ やあん♪ もう♪ ほん  
と可愛いなあ♪ そんな泣きそうな顔されたらあ  
〜♪ ああん♪ おまんこキュンキュンしちゃう  
よおお♪ ごめんね〜お兄ちゃん♪ ん、んん♪  
半分は、冗談だからあ♪ ほ〜ら♪ お詫びに  
……♪ おまんこキュツキュ♪ おまんこきゅっ  
きゅ〜♪」

---

美紀

「まだ開発したての処女おまんこお♪ 妹おまんこ  
好きになってえ♪ おちんぽでおまんこの形よく  
覚えて〜♪」

---

美紀

「はあ、はあ……♪ ん〜ちゅ♪ れろれろ、  
ちゅ♪ ん〜ちゅ♪ れ〜〜♪ れろれろれろ  
れろ♪ んん♪ おちんぽしゅきい♪ おちん  
ぽお♪ おちんぽ大しゅきい♪」

---



---

美紀

「ちゅ♪ ぢゆるるっ！ ぢゅぷっ！ ん〜ちゅ♪  
れろれろれろれろ♪ んちゅ♪ ちゅ、ぢゅ  
りゅりゅりゅ〜♪ ぷはっ！ れろれろ♪  
ん、れ〜ろれろれろ♪ ちゅ、ちゅ♪」

美紀

「ん♪ おちんぽお♪ おまんこで、パンパン♪  
おまんこパンパン♪ ねえお兄ちゃん？  
はあ、はあ……♪ もうイクう？ 妹の処女マン  
コでもうイっちゃうう？」

美紀

「えへへ〜♪ いいよ〜♪ ほ〜ら♪ とろとろお  
まんこきゅ〜きゅ〜締めて絞ってあげる♪ ほ〜  
ら妹おまんこだよ〜♪ おまんこおまんこお♪  
きゅ〜きゅ〜♪ きゅっ、きゅ〜きゅ〜♪」

美紀

「そらいケ♪ イっちゃえええ♪ お兄ちゃんの初  
おまんこ射精……♪ んん♪ あ、あ、んあっ！  
妹のおまんこにい♪ エッチなトロトロおまん  
こにいっぱい膣中出ししてえ♪」

美紀

「ほらあ♪ イケ♪ イケイケイケイケ〜♪ おち  
んぽイっちゃええ♪ おちんぽイっちゃえええ〜  
〜♪ んん♪ おちんぽぴゅっぴゅ♪ おちんぽ  
ぴゅっぴゅ〜〜〜♪」

---

美紀

「んっ！ ひゃっ！ あああああっ！！？？ ん  
ひゃああっ！ お兄ちゃんっ！ あ、んあ  
ああっ！ おちんぽ出てるっ！ お、おちん  
ぽおお！ これえ♪ おちんぽ出てりゅのおお  
♪」

---

美紀

「ひゃああっ！ あ、あ、あ、ああああっ！ こ  
れえ♪ これがおまんこ膣中出し♪ んんん  
♪ おまんこ膣中出し♪ いいよお♪ こん  
な気持ちいいなんてええ♪ あ、ああああっ！  
んひゃああっ！ これしゅーい♪ しゅーい  
のおお♪」

---

美紀

「はっ！ やっ！ んん♪ お。おまんこおお♪  
んああ♪ やああ♪ おまんこ溢れるう♪ おま  
んこの奥うう♪ 子宮にびゅーびゅーされ  
てえええ♪ んあっ！ あ、あああ♪ 気持ちい  
いよおお♪」

---

美紀

「んん♪ んはっ！ はあ、はあ……♪ やああ♪  
おちんぽいい♪ んん♪ 膣中出しセックシ  
ュううう♪ んああ♪ やああ♪ らいしゆきに  
なっひやううう♪ んん♪ あ、ああ……♪  
おまんこおお♪ おまんこおまんこおお♪  
あああ……♪」

---

---

美紀

「はあ、はあ、ん♪ はあ、はあ……ふう………  
…♪ んん♪ え、えへへ♪ お兄ちゃん？ ど  
う？ 妹まんこのお味は？ え、えへへ♪ 本当  
はここまでするつもりなんて無かったけど……♪  
んん♪ 結果的に、ん、本番までやっちゃった  
し……♪ これは言っておかないとね……♪」

---

美紀

「はあ、はあ……ん♪ ね、おにゅちゃん♪ 童貞  
卒業おめでとゅ♪ とっても気持ちいい童貞セ  
ックスだったよ？ んゅゅゅちゅ♪」

---

美紀

「えへへ♪ お兄ちゃんったら顔真っ赤♪ ほん  
と可愛いなうもう♪ ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

---

美紀

「んん？ あれれ？ お兄ちゃん、もしかしても  
うおまんこ授業終わりだと思ってる？」

---

美紀

「契約満了まであと数時間残ってるんだから♪ そ  
れに、私はまだおまんこに襲い掛かった事許して  
ないんだからね？」

---

美紀

「だ・か・ら♪ まだまだいっぱい女の子のおまん  
こ♪ 変態おちんぽに教え込んであげるからね♪  
♪」

---

美紀

「ん、ちゅ♪ えへへ♪ 次は反対のお耳を攻めな  
がらおまんこセックスしてあげる♪」

---

美紀

「んん♪ お兄ちゃん♪ ふうううううう♪ んん♪  
♪ やあん♪ おちんぽビクビクしてえ♪ やあ  
♪ ダメだよ♪ そんな暴れちゃおちんぽミル  
ク溢れちゃうう♪」

美紀

「ん、あ、やあ♪ しゅきい♪ おちんぽしゅき  
しゅきい♪ んん♪ んあ♪ あ、んちゅ♪  
じゃあ動くね？ おちんぽミルクとおまんこジ  
ュース、おまんこでグチュグチュ混ぜようね♪」

美紀

「ん、んん♪ あっ♪ あああ♪ んん♪ いいよお  
♪ お兄ちゃ♪ んん♪ おおっ！ お、おおお♪  
んほおおお♪ おまんこお♪ いいよおお♪」

美紀

「んん♪ ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪ はあ、はあ……  
♪ おまんこせつくしゅうう♪ 何度やっても凄  
いのおお♪ んあああ♪ これええ♪ お兄ちゃ  
んのおちんぽにハマっちゃいそうだよおお♪」

美紀

「はあ、はあ……♪ んん？ いいのお？ 妹の  
ザーメン塗れのおまんこ、気持ちいいのお？ え  
へへへ♪ 嬉しいなあ♪ ん♪ もっと喘いで感  
じてえ♪」

美紀

「あ、あ、あ、あああ♪ お、おまんこお♪ んん  
♪ これえ♪ おちんぽ激しくってえ♪ やあ♪  
入口擦れて……んん♪ や、ああん♪ クリい  
♪ しゅごいよお♪ んん♪ もっとお♪ もっ  
としてえ♪ お兄ちゃ♪ んん♪」

---

美紀

「ん、ん、ん、んっ！ んああっ！ やっ！  
あああ♪ おまんこおお♪ はあ、はあ、んゝゝ  
ゝちゅ♪ ちゅ……れろれろ……ちゅ♪ ちゅ  
ぷっ！ はあ、はあ……んゝゝちゅ♪」

美紀

「ちゅ♪ れろれろ……ちゅ♪ ちゅ♪ はぷっ！  
むゝゝ♪ ぢゅぷっ！ じゅりゅりゅりゅ……  
じゅぷっ！ んんっ！ ちゅ♪ ちゅ……れろれ  
ろ……ちゅ♪ ちゅ♪」

美紀

「はあ、はあ……おにいちやゝん♪ んんゝちゅ♪  
れろれろ……ちゅ♪ ぢゅぷぷっ！ ぢゅりゅ  
りゅりゅ♪ じゅぷぷっ！ んちゅ♪ ちゅ♪  
はあ、はあ……ふううゝゝゝ♪」

美紀

「おちんぽパンパン♪ おちんぽパンパン♪ ん♪  
ちんぽおゝ♪ んあっ♪ あ、あ、あああっ！  
ちんぽ♪ ちんぽ♪ ちんぽ♪ ちんぽおお  
♪」

美紀

「ん、んん♪ ん、んん♪ はあ、ちゅ♪ れろれ  
ろ……ちゅ♪ ちゅ♪ ちゅゝゝ♪ れろれろゝ  
ゝ♪ れゝゝ……じゅぷぷっ！ ぢゅるるるゝゝ  
♪ んちゅ♪ ちゅ♪ はあ、はあ……ムフ——  
♪」

---

---

美紀

「お兄ちゃん見てえ？ おまんこ、パンパンしてる  
ところ♪ んん♪ ここ♪ 処女だったおまん  
こがあ……♪ んん♪ んあっ！ あ、やんっ！  
お兄ちゃんの童貞おちんぽに開発されてえ♪  
んん♪ お兄ちゃんの形に広げられちゃってる  
のお♪」

---

美紀

「はあ、はあ……♪ んん♪ ここ♪ おまんこ  
の穴♪ ん、やっ♪ あうう！ んん♪ 真っ  
赤になってえ♪ んん♪ これ、お兄ちゃんのお  
ちんぽが大きくて擦れるからだよ？ んん♪  
んあっ！ んんちゅ♪ ほんと、凶悪な童貞おち  
んぽなんだからあ♪」

---

美紀

「んあっ！ やっ！ あ、ああ♪ んん♪ 本当な  
らあ♪ サーモンピンクの綺麗なおまんこだった  
のにい♪ んん♪ やあ♪ エッチに赤くなっ  
てえ♪ んあ！ は、は……♪ やあん♪ ん  
あっ！ ちよ、ちよっとお兄ちゃん！ また大き  
く……ひやあっ！？」

---

美紀

「んああっ！ あ、あ、あ、あああっ♪ ぴゅっ  
ぴゅしたばかりなのにい♪ んん♪ もうこんな  
に、んん！ お兄ちゃんってば、やん♪ 絶倫さ  
んなのかなあ？ はあ、はあ……ん、やあ♪ こ  
れは、んん♪ 予想外につ！ 優等生おちんぽか  
もお♪ しれないかなあ♪」

---

美紀

「ん、ん、ん♪ はあ、はひゅっ！ んん♪  
やあ♪ おまんこお♪ ビラビラ捲れてえ♪ ん  
ん♪ これ、閉じなくなっちゃううう♪ ぴちぴ  
ちおまんこ、びらびらになっちゃううう♪ ん  
んん！！」

美紀

「はひゃっ！ あ、あ、ああ♪ ん♪ ねえ、お  
兄ちゃん……♪ はあ、はあ……お、おまんこ、  
好き？ 妹おまんこ、好きになっしてくれて  
る？」

美紀

「はぶっ！ ん、ちゅ♪ ちゅぶぶっ！ んん♪  
お、おまんこはねえ♪ おちんぽの事お……ん  
ちゅ♪ ぢゆるるる♪ じゅうううう……ちゅ  
ぱっ！ え、えへへ♪ 好きになっちゃった  
のおお♪」

美紀

「ん？ ちゅ♪ じゅぶぶっ！ れろれろれろれ  
ろろろ♪ お兄ちゃんのお♪ おちんぽ欲ち欲  
ちいつてきゅつきゅしてねえ？ おちんぽお♪  
おちんぽお♪ って欲しがってるのお♪  
♪」

美紀

「はぶっ♪ ちゅ♪ れろれろれろろ♪ おちん  
ぽお♪ んんん♪ おちんぽおちんぽおろろ♪  
はぶっ♪ ちゅ♪ れるれる……んん♪ これ  
が発情おまんこの味だよ？ お兄ちゃろろん  
♪」

---

美紀

「んぷっ！　ぢゅっ！　れりゅれりゅ……ちゅ♪  
んぷっ！　ちゅ、ちゅぱっ♪　はあ、はあ……♪  
『相手に、んん♪　こんなトロトロおまんこセ  
ックス出来るなんてえ♪　はぷっ♪　んんちゅ  
♪　ラッキーだねえ♪　んん♪　やっ♪　ああん  
♪』

---

美紀

「はあ、はあ、ん、んん♪　れっ♪　れろれろれろ  
れろっ♪　ちゅ♪　ちゅ、ちゅ♪　んんちゅ♪  
ぢゅりゅりゅりゅっ♪　んぷっ！　れっ…  
…♪　れろれろれろっ♪　ちゅ、ちゅ♪」

---

美紀

「やあ♪　おまんこパンパンしてえ、これえ♪  
ザーメンと愛液混ぜ混ぜしてえ♪　泡立ってる  
よお♪　んん！　やあっ♪　ドスケベクリム  
作っちゃってるのお♪　はあむっ！　ちゅ♪　ん  
っっ♪　れろれろっ♪　れっっろれろれろ  
れろ♪」

---

美紀

「んちゅ♪　ちゅ、ちゅっ♪　ちゅぷぷっ！　ん  
ちゅ♪　はむちゅぷっ！　んん♪　なあに？　そ  
んなおまんこ見ちゃってえ？　もしかしてっ♪  
このドスケベクリーム飲みたいの？　ふっん♪  
お兄ちゃんの変態♪　エッチ♪　スケベっ♪」

---



美紀

「ふふふ♪ んん♪ いいよお？ このまま、んん♪ またおまんこに射精してくれたらあ♪ ご褒美におまんこでしっかり熟成したおまんこクリム、いっっぱい飲ませてあげる♪ んん♪ だ・か・ら♪ いっぱいおまんこに出してえ♪ 子宮の奥までえ♪ いっぱいいっっぱい、孕ませミルク出してえっ♪」

美紀

「はむっ♪ んんっ♪ ちゅ♪ ほら、イって♪ おちんぽぴゅっぴゅ♪ おちんぽぴゅっぴゅ♪ んっれろれろれろろ♪ んっぴゅっぴゅ♪ ぴゅっぴゅうううう♪」

美紀

「ん！ んんんんん！！ ぷはっ！ あああっ♪ おちんぽおお♪ しゅーいよおお♪ おまんこにびゅびゅっ出てえ♪ ん、んん♪ んひゃっ！ あ、ああ♪ おまんこいいのお♪ んん♪ 熱くてえ……♪ ねばねばしてえ♪ んん♪ はひゅうっ！ んん♪ いいよお♪ 全部出してえ♪ おちんぽミルク全部出してえええ♪」

美紀

「そう♪ その調子でえ♪ んん♪ あ、ああ♪ んああ♪ ほらほらあ♪ ぴゅっぴゅ♪ ぴゅっぴゅ♪ おちんぽぴゅっぴゅ♪ おちんぽぴゅっぴゅっ♪」

美紀

「はあ、はあ……んん♪ あああん♪ やあ♪ い  
いよお♪ お兄ちゃ〜ん♪ 好きい♪ おちんぽ  
好きい♪ ちんぽ、ちんぽお♪ ちんぽ、ちんぽ  
♪ ちんぽ♪ ちんぽおお♪」

美紀

「んやああ♪ 気持ちいい♪ おまんこせつく  
しゅうう♪ おまんこお♪ いいのお♪ んん♪  
ん、あ、ひゃん♪ はあ、はあ……ん、あん♪  
おちんぽ、収まってきたあ♪ え、えへ〜♪  
はふう〜〜♪」

美紀

「はあ、はあ、はあ、はあ……♪ ん、んん♪ お  
兄ちゃん♪ お疲れ様でしたあ〜♪ んん♪ は  
ううう♪ こんなにおまんこに出して……♪  
あ、やん♪ 零れちゃう……♪ おまんこからと  
ろとろってえ♪ 溢れてえ♪ ひううう♪ あっ  
たか〜い♪」

美紀

「えへへ〜♪ ふう〜♪ 何かいいね、こういうの  
……♪ 事後っていうのかな？ 甘い空気で、ん  
ん♪ 久々にお兄ちゃんに甘えちゃおっかな……  
♪ すりすり〜♪ すりすり〜♪」

美紀

「んん♪ 何だかお兄ちゃんに好き勝手された事と  
かどうでもよくなってきたやつた〜♪ セック  
スってこんな素敵なんだね〜♪ んん♪ もっと  
早くエッチしとけば良かったなあ♪」

美紀

「ん？ あれ？ あれあれあれ？ なあに？ お兄ちゃんったらあゝ もしかして嫉妬しちゃったのお？ 別に私が誰とエッチしたってお兄ちゃんには関係ないでしょ？」

美紀

「ん♪ ぷぷっ♪ あは♪ あはははははは♪ もう♪ 冗談だよ、じょ・う・だ・ん♪ 知らない人とセックスなんてしたくないしね♪ これからもいつも通り本番無しおまんこ勉強プランだけしかないから♪」

美紀

「ええ？ それもダメなのお？ むうう……でもこの仕事なくなっちゃうとお金に困っちゃうし……むううゝ我儘だなゝ」

美紀

「どうしても止めろっっていうなら、これからはお兄ちゃんが私と契約してくれる？ そゝ おまんこ家庭教師の♪」

美紀

「もう童貞卒業支援じゃなくなっちゃうけど、これからはお兄ちゃん専属のおまんこセックス家庭教師として、おまんこのいろんな楽しみ方を教えてあげるよ？」

美紀

「例えばおまんこにジュースを注いでちゅゝちゅゝ吸ったり、おまんこの毛を剃ってみたり♪ 更には膝枕じゃなくてオマンコ枕してあげたり♪ おまんこにはまだまだ色んな楽しみ方があるんだから♪」

美紀 「もちろん有料だけどね♪ どう？ 契約してみ  
る？」

美紀 「ん♪ オッケー♪ 契約成立だね♪ えへへ♪  
これからも、妹の体でいっぱいおまんこのお勉  
強しようね♪ お兄ちゃん♪」

◆おまけトラック05 オナサポ淫語手コキ♪

美紀 「は〜い♪ 今日もいっぱいセックスのお勉強をし  
ていこうね♪ お兄ちゃん♪」

美紀 「って、ぶぶぶ〜♪ まだ始まってもないのにお  
ちんぽ丸出しにして〜♪ しかもおつきい〜♪  
んん〜♪ 相変わらず変態さんだね〜♪ 変態♪  
へんた〜い♪」

美紀 「あはは♪ まうたビクってしたあ♪ スンスン♪  
スンスン……♪ はううう♪ 濃厚なおちんぽ  
の匂い〜♪ おちんぽお♪ おちんぽおちんぽ〜  
♪」

美紀 「んん〜？ なあにい〜？ おちんぽって言われて  
また興奮してるのお？ はあ〜♪ ほんとこらえ  
性のないダメちんぽだな〜♪ こんなのがお兄  
ちゃんなんて恥ずかしくなっちゃうよお♪」

美紀 「そんなダメダメお兄ちゃんには、少しでも淫語に  
慣れてもらうために、今日はい〜っぱい♪ エッ  
チな事囁きながら、手・こ・き♪ してあげるね  
♪」

美紀 「んん♪ お兄ちゃん嬉しそう♪ どこまで耐えられるか見ものだね♪ それじゃあ、いっくよ  
〜?」

美紀 「ほ〜ら♪ し〜こし〜こ♪ し〜こし〜こ♪ お  
ちんぽ♪ おちんぽ♪ おちんぽ♪ おちんぽお  
♪」

美紀 「おちんぽおちんぽ♪ おちんぽおちんぽ♪ お兄  
ちゃんちんぽ♪ 変態ちんぽ♪」

美紀 「やん♪ すっごいねえ〜♪ おちんぽビクビクし  
てえ♪ シコシコシコシコ♪ シコシコシコシコ  
〜♪」

美紀 「はあ、はあ……んん♪ おちんぽお♪ おちんぽ  
おちんぽお♪ ちんぽ♪ ちんぽ♪ ちんぽ♪ ちんぽ♪  
ちんぽ♪」

美紀 「ほらほら〜♪ 頑張れ頑張れ♪ 負けるな負ける  
なおちんぽ♪ 頑張れ頑張れお・ち・ん・ぽお  
♪」

美紀 「んん♪ お・ち・ん・ぽお♪ おちんぽおちん  
ぽお♪ おっきなおちんぽ♪ エッチなおちん  
ぽお♪」

美紀 「おちんぽ頑張ってえ〜♪ いっぱい我慢してちん  
ぽ汁垂れ流して〜♪ それそれ♪ ちんぽ♪ ち  
んぽお♪ おちんぽおちんぽお♪」

---

美紀

「ん、ん、ん♪ ちんぽお♪ ちんぽスキ♪  
ちんぽちんぽお♪ お兄ちゃんちんぽ立派あ♪  
大きいおちんぽ好き♪ 大好きだよお♪ お兄  
ちゃんのお・ち・ん・ぽ♪」

美紀

「ふふふ♪ おちんぽおちんぽおちんぽおちんぽお  
♪ おちんぽ♪ おちんぽ♪ おちんぽ♪ おち  
んぽ♪」

美紀

「ちんぽちんぽお♪ すきすきちんぽお♪ お兄  
ちゃんちんぽお♪」

美紀

「あん♪ お兄ちゃんのおちんぽ、おまんこに欲し  
いよお♪ ねえ♪ おちんぽ欲しい♪ おちん  
ぽお♪ おちんぽおちんぽお♪ おちんぽ頂だ  
い♪ おちんぽ欲しい♪ おちんぽお♪ おちん  
ぽおちんぽお♪」

美紀

「おまんこお♪ おまんこおまんこお♪ ねえねえ  
♪ おまんこ好き？ 妹おまんこ好き？ ん  
ん♪ ちゅ♪ はあ♪ おまんこお♪ おまん  
こおまんこお♪」

美紀

「まんこ♪ まんこ♪ おまんこ♪ おまんこお♪  
んん♪ おちんぽ欲しい♪ おちんぽお♪ お  
ちんぽ欲しいよお♪ んん♪ ちんぽ♪ ちんぽ  
♪ おちんぽおちんぽお♪」

---

---

美紀

「おまんこ入れて♪ トロトロおまんこにい♪ お  
ちんぽお♪ 勃起おちんぽお♪ ちんぽ♪ ちん  
ぽ♪ ちんぽちんぽちんぽちんぽお♪」

美紀

「妹おまんこお♪ 発情おまんこお♪ まんこ♪  
まんこ♪ おまんこおまんこお♪ んん♪ まん  
こ入れてえ♪ おまんこおまんこお♪ まんこま  
んこまんこまんこおお♪」

美紀

「んん♪ ちんぽお♪ ちんぽお♪ おちんぽ欲し  
い♪ おちんぽ欲しいの♪ お兄ちゃんのお、勃  
起おちんぽお♪ おまんこに欲しいよお♪ おま  
んこお♪ スケベおまんこお♪ んん♪ おまん  
こおまんこ♪ おまんこおまんこお♪」

美紀

「んん？ もうイっちゃいそう？ んん♪ やうだ  
う♪ お兄ちゃんもつと頑張つてえ♪ 妹のお手  
手おまんこなんかに負けないでう♪ おちんぽで  
勝つて、生意気妹をわからせてえ♪」

美紀

「頑張れ頑張れおちんぽ♪ 頑張れ頑張れお・ち・  
ん・ぽお♪ ほらほら♪ おちんぽの匂いでえ♪ こ  
おまんこもお♪ ドンドン濡れてきてえ♪ こ  
のまま頑張れば妹をわからせられるかもよお？」

美紀

「おちんぽ気持ちいい♪ おちんぽ気持ちいい♪  
おちんぽおちんぽお♪ おちんぽおちんぽお♪  
勃起おちんぽ♪ 変態おちんぽ♪」

---

---

美紀

「お兄ちゃんのおちんぽえ♪ 発情おまんこお♪  
メスにしてえ♪ 妹おまんこオナホにしてえ♪  
おまんこおまんこ♪ 妹おまんこ♪ オナホおま  
んこ♪ お便器おまんこお♪ 使い捨ておまん  
こお♪」

美紀

「あ、ああ♪ おちんぽびくびくしてえ♪ イクん  
だね？ いいよ♪ 負けを認めるならイっていい  
よお♪ ほらほらあ♪ お兄ちゃんのおちんぽ  
は、妹のお手手オナホにイカされたザコザコおち  
んぽでちゅって言いながら情けなくイッてえ  
♪」

美紀

「私の合図と同時に敗北宣言するんだよ？ ほくら  
♪ せゝの♪」

美紀

「お兄ちゃんのおちんぽは、妹のお手手オナホにイ  
カされたザコザコおちんぽでちゅ♪」

美紀

「あ、きやああん♪ おちんぽすっごゝい♪ ぴゅ  
ぴゅゝって出てえ♪ んん♪ いいねえ♪ おち  
んぽ気持ちよさそうだね♪」

美紀

「それぞれ♪ ぴゅっぴゅ♪ ぴゅっぴゅゝ♪ お  
ちんぽぴゅっぴゅ♪ おちんぽぴゅっぴゅゝ  
♪」

---



---

美紀

「んん♪ はあゝ♪ いっぱい出たねゝお兄ちゃん  
♪ って、おゝい、お兄ちゃゝん？ あらら、気  
持ちよすぎてトんじやったのかな？ ぷぷぷ♪  
ほんとなっさけないなゝ♪」

美紀

「全く、意識が戻ってきたらまた補習だからね？  
いゝっぱいぴゅっぴゅしてあげるんだから♪ 覚  
悟しててね？ お兄ちゃん♪」

◆おまけトラック06 左耳舐めループ

◆おまけトラック07 右耳舐めループ

◆おまけトラック08 両耳舐めループ